

## 水道事業の概要について

### ■沿革（主な事業のみ）

- ・昭和44年3月 事業認可 以降5回見直し
- ・昭和46年8月 給水開始…栗坪取水場、高麗本郷配水池（現高麗本郷配水場内）  
（計画人口 8,500人、一日最大給水量 2,125m<sup>3</sup>）
- ・昭和49～50年度 第1次拡張…高岡浄水場、高麗本郷配水場 外  
（計画人口 34,000人、一日最大給水量 9,520m<sup>3</sup>）
- ・昭和52～60年度 第2次拡張…高萩浄水場、高萩取水場、北平沢取水場  
（計画人口 47,600人、一日最大給水量 16,000m<sup>3</sup>）
- ・昭和59～62年度 第3次拡張…高麗本郷取水場  
（計画人口 50,000人、一日最大給水量 17,000m<sup>3</sup>）
- ・昭和63～平成6年度 第4次拡張…県水導入、高岡配水場  
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 23,300m<sup>3</sup>）
- ・平成8～12年度 第5次拡張…田波目配水場  
（計画人口 59,800人、一日最大給水量 28,700m<sup>3</sup>）
- ・平成13年度 駒高配水場（駒高地区への給水）
- ・平成18年度 山根配水場（埼玉医科大学国際医療センターへの給水）
- ・令和元年9月 事業変更認可（高麗本郷浄水場の浄水方法変更）  
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 24,600m<sup>3</sup>）

### ■事業の状況

項目	令和4年度末	令和3年度末	比較
行政区域内人口	54,557人	54,791人	△234人
給水人口	54,526人	54,760人	△234人
給水戸数	24,773戸	24,444戸	329戸
普及率	99.9%	99.9%	0ポイント
年間配水量	6,755,095 m <sup>3</sup>	6,698,220 m <sup>3</sup>	56,875 m <sup>3</sup>
一日平均配水量	18,507 m <sup>3</sup>	18,351 m <sup>3</sup>	156 m <sup>3</sup>
一日最大配水量	21,194 m <sup>3</sup>	22,141 m <sup>3</sup>	△947 m <sup>3</sup>
年間有収水量	6,184,164 m <sup>3</sup>	6,246,612 m <sup>3</sup>	△62,448 m <sup>3</sup>
一日平均有収水量	16,943 m <sup>3</sup>	17,114 m <sup>3</sup>	△171 m <sup>3</sup>
県水の割合	52.9%	51.6%	1.3ポイント

### ■経理・業務の状況

項目	令和4年度	令和3年度	比較
水道事業収益(税抜き)	1,001,610,313円	999,668,094円	1,942,219円
うち水道料金(税抜き)	749,489,640円	830,856,310円	△81,366,670円
水道事業費用(税抜き)	1,064,202,191円	991,309,526円	72,892,665円
当年度純利益(△純損失)	△62,591,878円	8,358,568円	△70,950,446円

項目	令和4年度	令和3年度	比較
資本的収入(税込み)	485,150,000円	267,550,000円	217,600,000円
資本的支出(税込み)	788,428,403円	504,640,297円	283,788,106円
収支差引	△303,278,403円	△237,090,297円	△66,188,106円

・資本的収入及び支出に対する不足額を補填する財源の内訳

項目	令和4年度	令和3年度	比較
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	22,529,126円	35,525,312円	△12,996,186円
過年度分損益勘定留保資金	74,150,127円	72,542,540円	1,607,587円
減債積立金	106,599,150円	79,022,445円	27,576,705円
建設改良積立金	100,000,000円	50,000,000円	50,000,000円
合計	303,278,403円	237,090,297円	66,188,106円

### ■企業債の残高

項目	令和4年度	令和3年度	比較
企業債年度末残高	2,306,729,045円	1,932,028,195円	374,700,850円